

身近な犯罪から身を守ろう

地区別防犯情報マップ

田中雄太¹⁾

指導教員 梶谷真也²⁾

1) 明星大学経済学部 経済学科

2) 明星大学経済学部 経済学科

進学や就職、引越などで初めて八王子市に居住する人にとって、自分がこれから生活していく地域でどんな事件が多く起きているかという情報を持ち合わせていないことが多い。それらの犯罪について知らないとその対策を講じることが出来ない。例えば、自分の住んでいる地域で侵入窃盗が多いことを知っているのと知らないのとでは、ドアや窓の施錠を徹底する等の対策への意識に差が出るだろう。そこで、私はどの地域でどんな事件が発生したのかという情報をわかりやすく提供するために、若い人が比較的多く住む地域を中心に地区別防犯情報マップを作成するということを提案する。

私が作成するマップの特徴は、大きく分けて3つある。1つ目は、地図情報を若い人が多く住む地域に絞ることである。八王子市は大学が多いため若者が多い。そのため比較的高い年齢層の人が多く住む山間部ではなく、若い人が多い大学周辺の地域に焦点を当てた地図を作る。

2つ目は、身近な犯罪に注目したことである。テレビや新聞で取り上げられるような凶悪犯罪の情報は手に入れやすい。しかし、身近で起こっている犯罪の情報については自分から求めなければ手に入れづらい。そういういた情報を地図にまとめることで、自分が住んでいる地域で起きている身近な犯罪が分かりやすくなる。

3つ目は、自分が住んでいる地域や周辺の地域で起きている犯罪の内訳が分かる点にある。自分が住んでいる周辺の地域でどんな犯罪が多く起きているかが分かれば、その対策を講じることが可能となる。身近な犯罪の内訳を「町・丁目」単位で地図上に示すことで、自分の住んでいる地域でどんな犯罪が起きているかがピントで分かる。

現在、八王子市では八王子警察署、高尾警察署及び南大沢警察署管内の侵入窃盗、ひったくり、車上狙い、自動車盜および振り込め詐欺の被害発生状況や不審者情報リストをホームページを通して提供している。このリストを利用することで、一週間でどんな犯罪が起きたかが分かる。しかしながら、このリストには「〇月〇日××町で△△△が起こった。」というような文字情報しかない。文字情報しかないと、八王子市への転入者にとっては具体的にどこで何が起きたのかが分かりづらいのではないかと私は思った。そこで、私はこれらの情報を地図にまとめるアイデアを思い付いた。

具体的なマップの作成方法は以下のとおりである。(1) マップの中心(ランドマーク)を「大学」とする。(2) 町・丁目の名前とその境界線をマップ上に分かりやすく示す。そして、(3) 過去に起きた身近な犯罪の発生件数とその内訳が分かる帶グラフを地域ごとに作成し、マップ

上の各地域に表す。以上の工程を通じて、初めて八王子市に居住する人にも分かりやすいマップを作成する。